

町立
指江図書館

TEL0996-88-6500



「**転んでも、大丈夫**」

白井二美男

義足を作る臼井さんは、どんなに難しい仕事でも無理とせず立ち向かい、作り続けている義足にはあつい思いが込められています。

町立
鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



「ゆめのすけが見た空」

七色虹子 漫画

災害救助犬の候補として引き取られた、ゆめのすけ。人を恐れ、ビビリな性格のゆめのすけは、災害救助犬になれるのか…。

町立図書館おすすめ

図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介します。

長島
文芸

Nagashima Bungei
ながしまぶんげい

明神俳句会

原爆忌仏に見ゆる野辺の石
川音を一品加え鮎料理
薫風や少女は羽化を始めたる
ただ灼けて顔の異なる野面積み
まだ癒えぬ地震の傷跡藺草風
熊蟬の殻の四、五十檀の木
旅先の宿の川音や鮎づくし
白雲に父の顔あり墓洗う
大暑に負けじと老婆美化作業
鮎持ちの一本の道峠越え
半夏生友は故郷の土と帰す
夕焼に翳る背や十字塔
大花火ほぐれ始めの色の濃し
蓮の香や朝の目ざめもさわやかに

淵脇	護	山寄加代子	白男川孝仁	迫口 君代	大堂 早苗	二階堂妙子	関 佳代美	大堂 正弘	二階堂恵子	大堂 光幸	山田 哲夫	筑前 初市	脇田 武志	坂口 静子
----	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

長島短歌会

朝風の瀬戸の海峡遠近おちこちに釣り船浮かぶ大橋渡る

幾万の歲月越へて残る沼藺牟田水辺を娘と廻りゆく

雨の日にほほゑみのごと満ちてゐる島の温泉に友
らと過ごす

虹も消え降りさうで降らずに暮れてゆく灘の漁火
瞬き初めり 岩下 ち江
日照り雨の最中に架かる虹の橋不知火の島ま
たぐごと 岩下 房代
蜜柑畑の緑の木陰に四肢伸ばし横たふ白猫身動き
もせず 檜平 頼子

初産の切開ほかなき母牛よ胎内いつしか鼓動が止まる
米尾 和子

創世短歌會

この単衣もはや着る日のなけれども捨て難ければ
夏干しにせん 坂之下典子
天草の山や海峡見はるかす峠路に立ち心安らぐ

小刻みに眠れば足れりこの頃の吾衰えて老いゆくらしも

竹之内重信

豊作の喜び分つ夫の亡く焼く粉殻の終日匂う

四つ這いとなりて田の草取りゆけば時おり額の汗が目にしむ 野村 益信

木に　　村上　義彦
自からの重みに首を垂れて咲く秋の日中のひまわり
の花　　石原百合子
田の畦に脱ぎておきたる上衣をば肩にかくればす
でに露もつ　山下　学

一般作品

「短歌」

「ふん、ふん」
ひさん
承らえて戦争を語る翁あり哀しき瞳カツと見開く

息苦しカズラ巻き付く杉の木よナタで退治にピン
と枝張る

小林 如月
小林 貢

吾らには理解しかねる人口頭腦その本となる二進
法など 宗方 清明
七夕や折鶴に書く願いごとみんなが幸せ楽しい
日々を 中飯屋辰子
東洋のナイアガラとふ曾木に来て炎天の汗瀑布に
癒ゆる 母木 良平

我れ先に声掛けすると受ける人返す言葉が気持ち
良いいかな

町田 末則